



特別活動

1. 小学校特別活動における指導事例

- (1) 第4学年 学級活動(1) 「学級の歌をつくろう」
- (2) 第5学年 学級活動(1) 「係活動」
- (3) 児童会活動 「児童会のテーマを決めよう」
《コラム》 「主権者としての意識の^{かん}涵養に向けて取り組むクラブ活動」

2. 中学校特別活動における指導事例

- (1) 学級活動(1) 「学校生活の主体者としての自覚をもとう」
- (2) 生徒会活動 「学校生活の主体者としての自覚をもとう」
- (3) 生徒会活動・学校行事 「河川清掃活動でよりよい地域づくりに貢献しよう」



1. 小学校特別活動における指導事例

第4学年 学級活動(1) 「学級の歌をつくろう」

1. 学級活動「(1) 学級や学校における生活づくりへの参画」で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

2. 第3学年及び第4学年の学級活動(1)における評価規準(例)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 学級活動(1)における「主権者教育の充実」に向けた指導のポイント

- 学級として取り組むべき問題を議題として選定し、問題意識を共有できるようにし、意欲的に活動に取り組むことができるようにする。
- 話し合いで決まった内容の実践に向けて、役割を分担して協働することができるようにする。
- 互いに関わりながら実践し、活動を振り返ることで、自分たちの学級や学校を楽しく豊かなものにしたという実感を得るようにするとともに、次の課題解決に生かすことができるようにする。

学級・学校生活を楽しく豊かなものにしていくためには、自分と友達や学級との関わりに目を向け、生活上の諸問題を自分たちの課題として捉え、学級や学校での生活をよりよいものにしていきたいという意識を高めることが重要である。特に学級生活においては、集団としての生活上の課題を解決するために学級活動における話し合い活動(学級会)を行い、互いの意見や考えを尊重し合い、少数意見も大切にしながら、多様な意見のよさを生かして合意形成することができるようにする。また、「実践するために話し合う」ことから、話し合って決めたことに協働して取り組み、改善・充実を実感できるようにすることが重要である。

学級活動(1)は、主として自発的、自治的な集団活動の計画や運営に関わるものであり、教師の適切な指導の下での、学級としての議題選定や話し合い、合意形成とそれに基づく実践を重視する。

主権者として求められる力を育成するためには、多様な意見のよさを生かして合意形成する力を身に付け、よりよい生活づくりへの参画意識を高めることができるように指導することが重要である。また、集団活動を通して、合意形成したことに協力して取り組むことの大切さに気付き、学級や学校の生活を自分たちの力で充実・向上することができたという実感をもつことができるようにすることも大切である。

<p>・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)</p>	<p>・話し合うことや決まっていることが、共通理解できるように必要に応じて助言する。 ・提案理由や決まっていることをふまえた自分の意見と理由を記入できるようにする。 ・ここまでの学級生活を振り返り、具体的なよさについて短めのキーワードで表現するように確認する。</p>	<p>自分たちの学級のよさを振り返り、よりよい学級生活をつくるためにどうしたらよいか、事前に自分の意見をもって話合いに臨むことができるようにします。</p>
<p>・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 (計画委員会)</p>	<p>・出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。 ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。</p>	

(4) 本時の展開

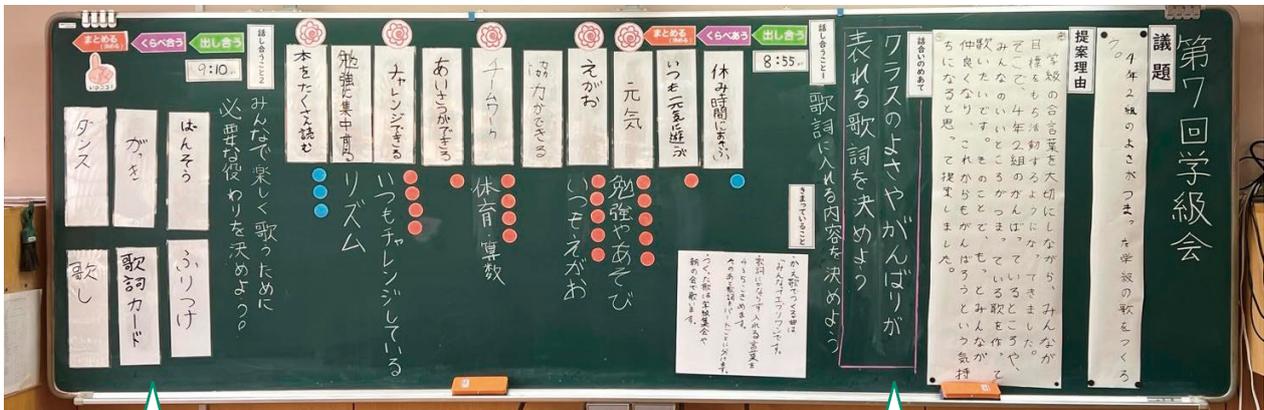
① 本時のねらい

学級の歌をつくるために、多様な意見のよさを生かしながら合意形成を図ることができるようにする。

② 本時の活動及び指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<p>1 はじめの言葉 2 司会グループの自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認と曲の確認</p>	<p>・めあてをもって自分の役割に臨めるよう発言することを事前に確認をする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 ・原曲を歌い、曲のイメージを確かめる。</p>	<p>話合いのめあてや決まっていること(条件)、実践の目的を踏まえ、現状と目指す姿を共有した上で、課題の解決に向けて話し合うことができるようにします。</p>
<p>6 話合い 話し合うこと① 「歌詞に入れる内容を決めよう」 話し合うこと② 「みんなで楽しく歌うために必要な役割を決めよう」</p>	<p>・話合いの内容が提案理由やねらいから逸れたり、司会が進行に困ったりしても、方向性を示唆するのみに留め、合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。 ・合意形成をする際に、どちらかを決めるような話合いにするのではなく、学級のよさを表している要素は何なのか考えることができるように司会に助言をする。</p>	<p>自分と異なる意見や少数の意見も尊重して、合意形成を図ることができるようにします。</p> <p>◎提案理由や話合いのめあてを視点に、よりよい意見はどれか比べ合っている。 ◎4年2組のよいところの歌詞やみんなが楽しく歌える工夫の合意に向けて、意見のよさを生かしたり創意工夫したりし、意見を考えたり発言したりしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察〉</p>

7 決まったことの発表		自分たちの学級の問題を自分たちで考え、解決方法を話し合い、学級生活を自分たちでよりよくしていくことができるという実感がもてるように助言します。
8 話し合いの振り返り	・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについても相互評価できるように助言する。	
9 先生の話	・終末の助言では、「①前回の話し合いと比べてよかったことや学級として合意形成を図ることができたことへの称賛、②次回の学級会に向けての課題、③司会グループや学級全体へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。	
	・提案理由を意識した発言や建設的な発言を称賛する。	みんなで話し合っただけで決めたことに気持ちよく参加したり協力し合ったりすることができるように、実践に向けた意欲付けを図る言葉掛けを行い、学級生活づくりへの参画意識を高めます。
	・実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉掛けをする。	
10 おわりの言葉		



「話し合うこと①」で歌詞について話し合っただけで、「話し合うこと②」で歌づくりに必要な役割を話し合います。その際、それぞれの得意なことやよさを生かして役割分担をすることで、創意工夫しようとする意欲を一層高めることも考えられます。

「提案理由」「話し合いのめあて」により、学級全体で話し合う価値がある問題であるという必要感や切実感を高め、「自分にとってもみんなにとってもよいことを決める」話し合いとなるようにします。

(5) 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。	・決まったことや役割分担を明記する。 ・役割ごとのグループで、協力して取り組むことができるようにする。 ・歌詞は全員で分担して整える。	
・掲示用の歌詞を作るなど決まった工夫を実践する。	・学級活動（1単位時間）で取り組む。 ・協力して取り組んだり、主体的に活動したりすることができるように帰りの会などで進捗状況を確認し、必要に応じて個別に声掛けを行う。	<p>決まった役割分担を基に、協力し合っただけで取り組むことができるように助言します。</p> <p>◎決定したことについて自主的に準備や計画等に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 〈学級会ノート〉</p>

<p>・一連の活動を振り返って感想を書く。</p>	<p>・めあてに基づき、自分の役割を果たすことや友達のよさについて振り返ることができるように助言する。</p>	<p>学級会で話し合い、決まったことに協力して取り組んだことによって、どのように学級が変わったのかについて振り返るとともに、自分や友達が主体的に関わることによって学級生活がよりよくなったことを実感できるようにします。</p> <p>◎一連の活動を振り返り、自他のよさやがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。</p> <p>【主体的態度】 〈観察・学級会ノート〉</p>
---------------------------	---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 授業の実際

(1) 事前指導

学級の生活上の諸問題に気付き、自分たちの課題として捉えることができるよう、提案者の思いや願いを踏まえ、教師の適切な指導の下、計画委員会で話し合い、具体的な「提案理由」となるようにする。

また、話し合いの流れを確認するよう助言しておくことで、当日の話し合いに自信をもって進めることができるようになる。

本議題では、「替え歌の原曲」を決めるための意見を集約する際に、ICT 端末のアンケート機能を活用した。朝の会や給食の時間に候補の曲を流し、それぞれの曲や提案理由について学級みんなで共通理解を図った上で、原曲を決めるまでの過程を明らかにしながら準備をすることで、「私たちの学級にぴったりな歌を決めたい」など、学級会に向けた意欲の向上につながる。同様に、学級のよいところについても、ICT 端末のアンケート機能を活用し「いろいろな人に元気にあいさつすることができます」「学級みんなが本をたくさん読むところが、私たちの学級のよいところです」などの意見を集約し、児童に提示した。

ICT 端末のアンケート用紙



(2) 本時における指導

学級会を行う際には、賛成や反対の意見を発表するだけでなく、意見の違いやそれぞれの意見のよさを認め合ったりして、学級としてよりよく合意形成を図ることができるようにする。その際、短冊を使用したり、賛成・反対のマークを活用したりして、思考を可視化できるようにする。そうすることで、多様な意見を比べやすくなり、合意形成が図りやすくなる。



「授業に集中する」という意見についてだけど、文字数が多いので、替え歌のリズムに合わないんじゃないかと思います。だから、「集中」と短くしたらいいと思います。

その意見はよいですね。意見を出してくれた〇〇さん、そのようにしてもよいですか？（いいです）では、「集中」と短くする考えに変えます。



【実践編】小学校 特別活動

また、学級会における役割の分担は輪番制により、どの児童も司会や記録を経験できるようにしていく必要がある。話し合いの進め方を学級の全員が経験することにより、司会以外の児童が進行についてアドバイスできるようになるなど、学級会の進行がより円滑になり、協働的に学級会を進めていこうとする参画意識の高まりにつながる。

具体的には、意見がなかなか出ず、進行が行き詰まった場面で、司会役の児童にフロア側の児童が進め方のアドバイスをすることも学級会における協働の姿である。何人かの意見で決めるのではなく、多様な意見のよさを生かして合意形成することの大切さについて日常的に指導し、主権者意識の涵養を図りたい。

さらに、学級会で決まらなかった少数意見について、別の場面で活用できないか助言するなど、どの意見も尊重することができるように指導したい。本議題では、5つのキーワードを歌詞に入れることを話し合っ^{かん}て決めたが、他のキーワードについても可能な限り活用しようということになった。



学校で一番図書の貸し出し冊数が多いので、学級みんなが本をたくさん読んでいることは4年2組のよさだと思います。



笑顔でチャレンジしていることも学級のよさだよ。いろいろな学級のよさやがんばっていることが出てきたから、歌詞づくりをするのが楽しくなってきたね。

この話し合いが学級のよりよい生活や人間関係づくりへとつながるものであったことに気付くよう、終末の教師の助言を工夫することで、次の学級会やさらなる課題解決といった実践への意欲を高める。「前回の学級会と比べてよかったこと」「次回の学級会に向けての課題」「司会グループや学級全体へのねぎらい」など、合意形成を図る上でどのような点がよかったのか、課題は何だったのかを明らかにして、よりよい話し合い活動に向けて助言したり、振り返る際のよさの視点を与えたりすることで、次の学級会やさらなる課題解決への意欲が高まる。

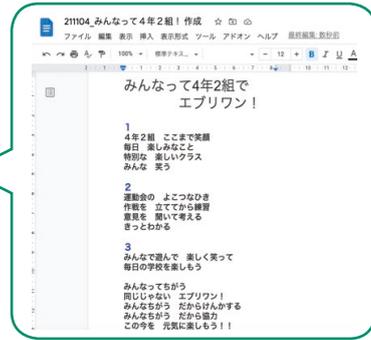


この歌をつくることによって学級のよさやがんばっていることについて、あらためて考えることができましたね。
この歌を歌うことで、学級のよさやがんばっていることを意識することができるようになりますね。さらに、友達のよさについては……（後略）

(3) 事後指導



※学級活動〈1単位時間扱い〉



合意形成した内容を学級全員で分担し、協力して取り組むことの大切さを実感できるようにする。

本実践では、学級会で決めたキーワードをもとに学級のよさについて考え、グループで歌詞づくりに取り組んだ。その際、ICT 端末を用いて、共同編集することができるようにした。

みんなで歌詞を考えることは難しいところもあったけど、自分たちの学級のよさがつまっている歌ができてよかったよ。毎日の学校生活の中で、もっと4年2組のよさを見つけていきたいな。そして、学芸会もあったし、4年生としてのよさについても考えていきたいな。



6. 実践するに当たっての留意点・配慮事項等

(1) 「学級の歌をつくろう」の議題の特質

「学級の歌をつくろう」の議題では、低学年においてはサビの部分など一部を空欄にした歌詞を示しておくなど、発達の段階に応じて工夫することが考えられる。また、児童の考えたキーワードを全て生かして、歌詞を考えることも考えられる。

なお、「学級の歌」をつくる時期によってその取り組み方は変わってくる。例えば、年度はじめの時期であれば、学級の合言葉などを基に「どのような学級にしていきたいのか」など、これからの学級生活の見通しをもった歌詞を中心に作成することになる。また、本実践のように、ある程度学級の生活づくりが進んだ時期においては、「これまでの学級生活を振り返り、どのようなよさや成長があったのかを振り返る」ことを通して歌詞づくりをすることになる。

(2) 他の議題の例

本事例の議題のほかに、自治的な活動の範囲の中で、「自分たちできまりをつくって守る活動」につながる議題を選定することも考えられる。

【主権者として求められる力の育成につながる議題例】

- ・雨の日の過ごし方を工夫しよう
- ・みんなのコーナーの使い方を考えよう
- ・教室の掲示コーナーの使い方を考えよう
- ・〇〇について、代表委員会に提案しよう など

※議題「雨の日の過ごし方を工夫しよう」の展開例

事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・議題ポストの議題案を確認し、計画委員会で選定し、学級全体で決定する。話し合う際には、児童に任せられる内容かしっかりと見極めて、学校や児童会の「雨の日の約束」などと異なるように留意して話し合うことができるようにする。 ・活動計画を作成する（計画委員会）。・学級会ノートに考えを記入する（個々の児童）。
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会を行う。 話し合うこと①：どんな遊びができるか 話し合うこと②：どんなにきまりが必要か
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・次の雨の日に実践する。 ・活動を振り返る。

活動を続けていくうちに、問題が生じてくる場合もあります。そこで、一度決めたままりや約束を絶対的なものと考えず、「もう一度みんなで話し合っよりよいものにする」ということを経験することができるようにしましょう。

【実践編】小学校 特別活動

事前の活動を行う際に、児童が学級や学校の生活の充実・向上のために、「全員で話し合うべき議題か」「自分たちで解決できる問題か」などの視点で議題案を整理し、提案者の思いや願いを踏まえ、他の議題を計画委員会で選定することも考えられる。

なお、「自分たちできまりをつくって守る活動」に関する議題について話し合う際には、学校や児童会で作成したきまりや約束と異なることがないようにしたり、特定の児童が非難されたり、一部の児童にとって有利なことになっていないか確認したりする。また、自治的な活動の範囲となっているかについて、教師が指導・助言することが大切である。

(3) 学級活動に係る環境整備

○ 学級会ノートの作成・活用

学級会ノートは、話し合いについて学級全員の共通理解を図るとともに、各自が自分の考えを整理したり、振り返ったりするためなどに活用する。自分の考えを整理する中で「自分たちの問題だ」と問題意識を高めることにもつながる。

また、一連の活動が分かるような学級会ノートを作成することは、見通しをもつことにつながる。

第7回 学級会ノート 10月21日(木)名前	
議題	4年2組のよさがつまった学級の歌をつくらう。
提案理由	学級の歌を木曜日にしながらみんなが目標をもち活動するようになってきました。そこで4年2組のよさがつまったところ、みんなのいいところをつまみあげて歌をつくらうと決まっています。そのことでもっとみんなが仲良くなり、これから「がんばろう」という気持ちになることを目指しています。
決まっていること	・かき歌でつくる。曲はみんなのテーマソングです。 ・歌詞はみんなが考えるよさを4つ5つ決め、その後、歌詞をパートごとに整理して考えます。
話し合いのめあて	クラスのがんばりがあらわされる歌詞を決めよう
自分のめあて	たくさん意見を出して、いい歌をつくりたい。
話し合うこと①	歌詞に入れる内容を決めよう ・歌詞に入れる4年2組のことを教えてね ・「いいところ」「こんなクラスになりたいな」「みんながんばっていること」
理由	ほめ合える 曲のイメージが明るいから曲にピッタリ。
話し合うこと②	みんなで楽しく歌うために必要な役割を決めよう ・歌う時に、どのような工夫をしたら、みんなが笑顔になると思いますか？ ・「歌うときにこんなふうにするのはどう？」ということも教えてください。
理由	えれぞう 曲も自分たちで考えたら、曲も曲をみんなで作りたい。ダンス (うい)つけをみんなで作ると楽しく思うから。
①理由を明らかにして考えたり、友達の見聞を聞いてきましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
②解決方法について理由などを比べながら考えることができましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
③自分の考えをもち、進んで学級会に参加することができましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
④自分のめあてに向けて取り組みましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
今日の学級会を振り返り ・手をたくさん挙げてくれた。	
・意見をを出している人の方を向いて、(せし)を正しくできた。	
自分の役わりやこれからがんばりたいこと ダンス ・全力で、おどりたい。	

4年2組のよさがつまった歌を作らう	
月 日() 名前	
自分のめあて	
話し合いのめあてとして、よさがつまった歌詞をつくる。	
活動をふり返りましょう	
◎よくできた ○まあまあできた △もう少し	
①提案理由を意識して活動することができましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
②自分のめあてに向けてがんばりましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
③自分の役割に責任をもって取り組むことができましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
④友達と協力して、楽しく活動することができましたか。	<input checked="" type="radio"/> ○ <input type="radio"/> △
・時間をかけて、歌詞をみんなで作った。	
・話し合いのとき、みんなの意見がなかなかまとまらなくてすごく大変だった。	
・中休みやこの時、みんながたくさん意見を出して、(うい)なと思った。	
・4年2組のよさを伝えて、音楽に合う歌詞をつくるのは大変だった。	
・5人がつくった歌詞の中では、5行目と6行目の歌詞が一番のお気に入りです。	

学級会ノート(表)

学級会ノートの表の上段には、自分の考えを事前の活動で記入し、学級会への参画意識を高めます。下段は、学級会の終末で、学級会の振り返りやこれからがんばりたいことを記入します。自分の役割やこれからがんばりたいことを書き、活動への期待感や協働して取り組むことへの意欲を高めます。

学級会ノート(裏)

学級会ノートの裏面は、実践や一連の学習過程について振り返ることができるようにします。その際、自分のことを振り返るだけでなく、一緒に取り組んでいる友達の様子についても記述できるようにします。そのことによって、協働的に取り組むことのおよさに目を向けることができるようになります。

○ 学級活動に関する環境の工夫

学級のよりよい生活をつくろうとする意識を高める上で、学級活動に関する環境を整えることは大切である。どの学級にも共通に設置するなど、児童が創意工夫しながら活用できるようにしたい。



議題ポストと議題提案カード

学級生活の諸問題を発見する力を高めることで自分たちの学級は自分たちでよりよくするという気持ちが高まります。また、必要感のある議題を選定することが、児童の課題解決への意欲を高めることにつながります。そのため、いつでも提案できるように、議題ポストの側に議題提案カードを用意しておくことが大切です。

また、議題提案コーナーとして掲示をしたり、提案された議題案の内容を見たり比べ合ったりすることができるような工夫をすることで、課題解決への意欲の高まりにもつながります。



学級活動コーナー

「議題」「提案理由」「話し合いのめあて」等が決まったら学級活動コーナーに掲示するなどして、学級全体に知らせます。そして、自分の意見をもって話し合いに参加することができるように、学級会ノートに事前に記入します。

見通しをもつことで、学級集団をよりよくする活動に自発的、自立的に取り組もうとする意欲や期待を高めることにつながります。



学級のあゆみの掲示

学級会で合意形成して実践した活動や、学校行事などで協働した場面や体験したことを「学級のあゆみ」として見える形で掲示することで、感動したことや学んだことを学級全体で共有します。

こうした活動の積み重ねを掲示することにより、学級として取り組んできたことへの意識が高まり、さらに学級への所属感や参画意識が高まります。

